【地区別状況】

|  |  |
| --- | --- |
| ①地区名 | JR津久野駅周辺地区 |
| ②基本構想策定時期 | 平成27年度（2015年度） |
| ③地区選定理由 | ○乗降客数3,000人以上の駅（特定旅客施設）及び区役所  ○堺市交通バリアフリー基本構想での策定地区を除いた地区  ○地区内に主な特別特定建築物（特定旅客施設を含む。）が３以上所在する地区（新規整備対象候補地区）（7）  ○整備効果が高いと特に見込まれる地区 |
| ④基礎情報 | 【1日平均乗降客数】  （平成25年度）17,246人⇒（平成30年度）16,896人  【地区特性（策定当時）】  本地区は、昭和30年代からＵＲ都市機構（旧住宅・都市整備公団）によって計画された住宅地です。また、平成12年頃からは、駅周辺や府道堺かつらぎ線沿道などを中心に民間事業者による中高層住宅が積極的に供給されており、依然として住宅需要の高い地区となっています。  また、JR津久野駅の南側駅周辺は近隣商業地となっており、ダイエーグルメシティ津久野店、デイリーカナート向ヶ丘店など複数の商業施設が立地しています。  一方、駅北側は準工業地域、工業地域となっていますが、新日軽工場跡地の大規模土地利用転換によりイトーヨーカドー津久野店が平成16年に開店しており、駅周辺は外縁の住宅地からの買い物利用者等が見込まれる地区となっています。  さらに、主要地方道大阪高石線と府道堺かつらぎ線の交差する位置には、堺市立総合医療センターが開設されるなど、多数の市民が来街する地区となっています。  【令和元年度の特定道路指定延長の状況】  4.6㎞（うち、未整備区間2.6㎞） |
| ⑤基本構想策定当時の課題 | ダイエーグルメシティ津久野店、デイリーカナート向ヶ丘店、鳳郵便局などは、築後相当年数を経過しており、各生活関連施設においてはバリアフリーの考え方に基づいた設計がなされておらず、移動等円滑化基準に適合しない施設が多数あるとともに、設備等の老朽化も著しい状況となっています。  しかし、イトーヨーカドー津久野店や鳳郵便局では、建築後においても移動等円滑化基準への適合に努めており、視覚障害者誘導用ブロックの敷設などが行われています。  また、本地区はＪＲ阪和線により地区の南北の往来がしづらい状況になっていることから、アクセシビリティの改善が長期的課題となっており、今後、改善について検討を進めていく必要があります。 |
| ⑥特記事項・備考 | ・平成27（2015）年　堺市立総合医療センター開設  ・当該地区内には、「堺市緑の基本計画（平成30年3月改定）」に位置付けられた15公園のうち、向ヶ丘公園が含まれている。 |